



# ステップアップ 畜産！



西部農業事務所家畜保健衛生課（西部家畜保健衛生所）  
〒370-0074 高崎市下小鳥町 233  
TEL 027-362-2261、FAX 027-362-2260

## ～記事～

- ★県内における豚熱発生事例について(国内 100 例目、県内 14 例目)
- ★令和 7 年度の繁殖豚の豚熱中和抗体価分布状況について
- ★県内および国内の野生イノシシ豚熱感染状況
- ★台湾・韓国におけるアフリカ豚熱（ASF）発生について
- ★令和 8 年定期報告書の提出準備のお願い
- ★堆肥化作業は臭気の発生に配慮が必要です
- ★適格請求書（インボイス）の発行について
- ★農業用免税軽油の集中受付月間のお知らせ

## ～別添資料～

- ★適格請求書（インボイス）の発行依頼書
- ★ご存じですか？農業用免税軽油
- ★群馬県衛生物資購入支援事業費補助金のご案内
- ★電子指示書システム運用開始のお知らせ

## ★県内における豚熱発生事例について(国内 100 例目、県内 14 例目)

令和 7 年 10 月 2 日に桐生市の養豚場にて国内 100 例目、県内 14 例目の豚熱発生がありました。発生農場は、高いバイオセキュリティ（車両消毒ゲートの設置、シャワーイン・シャワーアウトの実施、豚舎ごとの衣服・長靴の交換、手指消毒の実施等）を持つ農場でした。このような農場で発生してしまった原因について、以下の要因が考えられました。

- ① 農場近隣では CSF 陽性のイノシシが複数頭発見されていた中、防護壁の外側数メートルの場所でイノシシの足跡が確認されていたことから、農場周囲の環境中のウイルス濃度が非常に高かったこと。
- ② 離乳豚舎でのネズミの確認はほとんどないものの、他の開放豚舎内ではネズミが確認されており、野生動物による農場内へのウイルス持ち込みが懸念されていたこと。
- ③ 当該農場は母豚群の中和抗体価に大きなばらつきがあったことから、子豚のワクチン接種時期を絞ることが困難であり、免疫付与状況が非常に不安定であったこと。  
※このため、当該農場は CSF ワクチンの追加接種が国との協議で承認されています。

※追加接種について：母豚群の免疫のばらつきや免疫付与状況の不良が続き、接種方法(他のワクチンとの接種部位や接種間隔)の検討や接種時期等の修正を行っても一向に改善がみられない場合、国との協議の上で承認されることがあります。

豚熱対策は、農場へのウイルス侵入防止のための飼養衛生管理の向上を基本とし、そのうえで発症リスク低減のためのワクチン接種を実施しています。疾病発生時の手当金等についても、度重なる発生により令和7年10月に見直しがなされました。

特定家畜伝染病の発生については手当金等が交付されますが、これまでの疾病発生農場においては、飼養衛生管理基準の不遵守・早期通報違反・虚偽報告等、発生やまん延防止のために必要な措置を講じていなかった場合、手当金・特別手当金を減額して交付されています。過去の豚熱発生時における減額率は2%から33%ですが、その減額率に上限はありません。今般、豚熱の手当金等減額については、以下のような見直しがなされました。

高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱の再発事例において度重なる飼養衛生管理基準の不遵守がみられることから、飼養衛生管理基準の連続不遵守項目をより重視

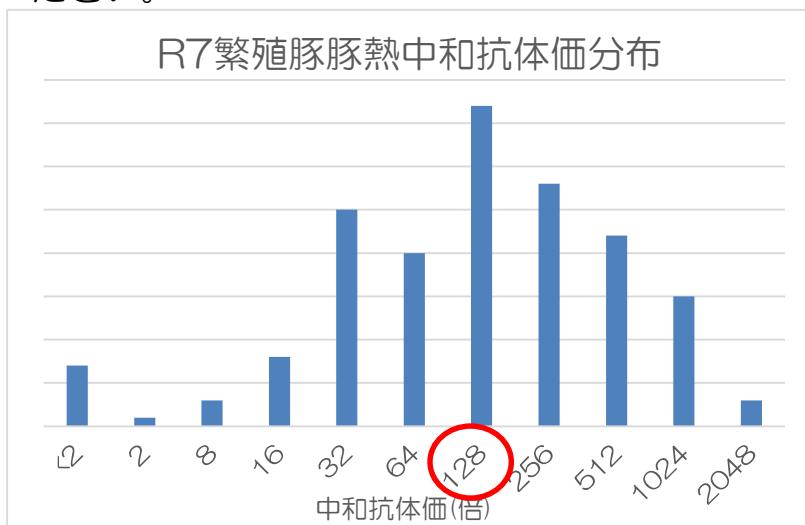
このようなことからも、再度、飼養衛生管理基準の確認をするとともに、引き続き、人、物、野生動物の豚舎内へのウイルス持ち込み防止対策の徹底をお願いします。

また、群馬県では常設消毒ポイントをJA 前橋北部支所に設置しています。特定家畜伝染病のみならず、一般的な疾病のまん延防止対策としても有効ですので、近隣を通過する際は、積極的な利用をお願い致します。

## ★令和7年度の繁殖豚の豚熱中和抗体価分布状況について

今年度現時点までに実施した管内の繁殖豚の豚熱中和抗体分布状況について報告します。中和抗体価は128倍を中心値とする分布となりました。管内での大きな変動はなく、離乳豚へのワクチン接種は30日齢前後を推奨しています。

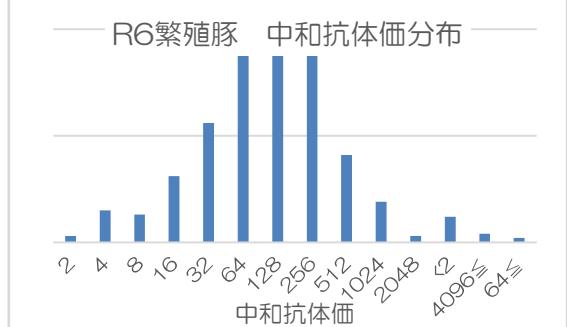
農場により中央値は異なることがあるため、定期的に検査を実施し、適切な時期でのワクチン接種が実施できるよう登録飼養衛生管理者制度より、飼養者自らワクチン接種ができるよう認定農場申請および飼養衛生管理者登録をご検討ください。



中和抗体価とは？

段階希釈した検査用血液を用い、精密に抗体価を測定し、希釈倍率を数値化

(※参考：R6年度)



下期においても、順次、農場採血を実施していますので、ご協力お願いいたします

## ★県内および国内の野生イノシシ豚熱感染状況

県内では、継続的に野生いのしでの感染確認がされています。今年度は、北毛から中毛にかけての感染確認が中心となっていますが、12月に入り今年度初めて、西部管内の富岡市で捕獲された野生イノシシで豚熱感染が確認されました。これから冬にかけて繁殖シーズンになるため、ウイルスを持った野生いのししが活発に動き回るため、ウイルスの浸潤拡大が懸念されます。

また、国内の野生イノシシの感染状況をみると、九州において8月に、新たに福岡県でも感染が確認され、九州全土への拡大が危惧されている状況です。

全国での経口ワクチンの散布は継続して実施していますが、野生イノシシへの豚熱感染をコントロールすることは、非常に困難な状況です。そのため野山への立入は自粛するとともに、日頃の農場点検（防護柵の点検、餌こぼし防止）ならびに豚舎や農場周辺の定期的な石灰消毒の徹底をお願いいたします。



<地域別野生イノシシ感染数(R7.4.1～R7.12.4)>

地域	西部	中部	東部	吾妻	利根沼田
陽性数	1	16	4	27	5
(総検体数)	(238)	(149)	(165)	(312)	(48)

## ★台湾・韓国におけるアフリカ豚熱（ASF）発生状況について

東アジアでは日本と台湾のみ ASF 非発生地域でしたが、2025年10月に台湾の飼育豚で ASF の初発生が確認されました。発生農場では、食品残さ給餌を行っていたため、台湾では豚への食品残さの使用を全面的に禁止とした措置をとっています。また、韓国においても継続的に飼養豚・野生イノシシでの ASF 感染を確認しており国内への侵入リスクが依然非常に高いままです。食品残さ飼養農場では、適切な処理(肉類の混入した食品を使用する場合は規定された加熱方法を守り、記録すること)を実施するとともに、使用されていない農場においても、引き続き飼養衛生管理基準の徹底をお願いいたします。

### 台湾におけるアフリカ豚熱の発生状況



## ★令和8年定期報告書の提出準備のお願い

家畜伝染病の発生予防やまん延防止対策を図るため、家畜を飼養する全ての所有者は毎年2月1日時点の家畜の飼養状況を知事に報告することが義務付けられています。令和8年1月末に通知を発送予定ですので書類提出の準備をお願いします。

なお、農林水産省共通申請サービス（eMAFF）を利用した手続きが可能ですでの、ご利用ください。

## ★堆肥化作業は臭気の発生に配慮が必要です

畜産業に起因する苦情の中で多いものの一つが悪臭であり、堆肥化処理にともない発生する臭気もその要因の一つです。家畜ふんを堆肥化することは、雑草種子や病原菌を不活性化したり、臭気の原因物質や汚物感を取り除き、良質堆肥として耕種農家などが利用し易くするために必要な作業です。

堆肥化処理により発生する臭気が、周辺住民からの苦情の原因とならないよう、以下の点に配慮しながら、良質堆肥の生産に努めていただきますようお願いします。

### ○ふんと尿汚水は速やかに分離する

→ふんと尿が混合されたまま放置すると、嫌気性微生物が増加し、より不快感が強く感じられる腐敗系の臭気が発生しやすくなります。ふんと尿は排せつされたら、早めに分離しましょう。

### ○堆肥化前にしっかりと水分調整を行う

→ふんにおが粉等の水分調整材を混合して通気性を保つことで、好気的な発酵が進み、腐敗系の臭気発生を抑えることができます。

### ○堆肥の切り返し作業を行う時の天候や時間帯を考慮する

→作業時は臭気が最も発生しやすくなります。好天の昼間の時間帯は、太陽の熱で暖められた地表付近の空気が上昇気流となり、発生した臭気が留まりにくくなります。

## ★適格請求書（インボイス）の発行について

家保手数料（県証紙または現金で納付）の中には消費税の課税対象となっているものがあります。

令和7年（1月1日～12月31日）のインボイスが必要な方は、令和8年1月9日（金）までに同封のインボイス発行依頼書にご記入のうえ、FAX等によりご連絡ください。

また、課税対象となる検査の詳細は、インボイス発行依頼書の裏面をご覧ください。

## ★農業用免税軽油の集中受付月間のお知らせ

農業用機械に使用する軽油は、事前に申請手続きを行うことで軽油取引税（32.1円/L）が免除されます。今年度の集中受付期間及び申請場所は次のとおりです。

1 申請期間：令和8年2月2日（月）～2月20日（金）

2 申請場所：高崎行政県税事務所

詳細は、同封のリーフレットをご参照ください。

西部家畜保健衛生所 〒370-0074 高崎市下小鳥町233

TEL 027-362-2261 (緊急時 24時間対応) FAX 027-362-2260

★ 畜産業を廃業された方に送付された場合は、お手数ですがご連絡ください。